



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 東芝機械株式会社  
 コード番号 6104 URL <https://www.toshiba-machine.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三上 高弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室長 (氏名) 甲斐 義章 TEL 055(926)5072  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	87,978	2.6	2,619	17.4	3,688	△3.8	2,511	△8.5
2019年3月期第3四半期	85,758	0.7	2,231	△24.3	3,834	△25.0	2,743	△21.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,812百万円 (44.7%) 2019年3月期第3四半期 1,943百万円 (△62.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	104.07	—
2019年3月期第3四半期	113.67	—

(注) 当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	145,353	84,078	57.8
2019年3月期	150,724	83,197	55.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 84,078百万円 2019年3月期 83,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	37.50	—
2020年3月期	—	42.50	—		
2020年3月期（予想）				42.50	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、2020年3月期の第2四半期末および期末（予想）の配当金には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	0.5	3,300	△13.9	3,800	△31.8	6,900	69.1	285.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）一、 除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	29,977,106株	2019年3月期	29,977,106株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,841,937株	2019年3月期	5,841,537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	24,135,325株	2019年3月期3Q	24,136,072株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
(1) セグメント別受注高・売上高	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①2020年3月期 第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、国際的な通商問題長期化の影響による中国およびその他の国の経済の減速継続、英国のEU離脱問題など、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済も世界経済減速の影響を受けて、引き続き輸出や生産の弱含みが見られました。

当社グループが属する機械業界につきましても、国内外の設備投資は、自動車関係を中心に慎重な姿勢が継続、海外は対象とする市場や製品により景況感に差異が生じております。

このような経済環境のもとで、当社グループは新中期経営計画「Revolution E10 Plan」を2019年4月1日からスタートさせました。「機械メーカーの総合力を最大限活かして成長し続けること」を基本指針とし、早く、激しく変化する時代において勝ち残り、成長するために従来の考え方や仕事の進め方を大きく変えて、収益力向上への変革を目指してまいります。

その上で、体質改善、商品力の共有と強化、成長投資による企業価値の向上に向けた諸施策に全力をあげ、取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、747億2千8百万円（前年同期比25.7%減）、売上高は、879億7千8百万円（前年同期比2.6%増）となりました。損益につきましては、営業利益は26億1千9百万円（前年同期比17.4%増）、経常利益は36億8千8百万円（前年同期比3.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億1千1百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

## ②セグメント別の概況

成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機におきましては、国内外で自動車向けを中心とした設備投資が引き続き軟調に推移し、販売と受注が減少いたしました。

ダイカストマシンにおきましては、販売は、インド、東南アジアが堅調に推移したものの、中国の自動車向けが減少いたしました。受注は、国内外の自動車向けを中心に軟調に推移いたしました。

押出成形機におきましては、販売は、国内の食品容器および光学用シート・フィルム製造装置、中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置を中心に堅調に推移いたしました。受注は、中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置が堅調に推移いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は、499億8百万円（前年同期比27.6%減）、売上高は、584億2千7百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は、28億9千7百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械におきましては、販売は、国内、中国、東南アジアの産業機械向けを中心に増加いたしました。受注は、中国の産業機械向けは増加したものの、国内外ともに設備投資の停滞を受けて、軟調に推移いたしました。

精密加工機におきましては、国内、中国のレンズ用および自動車用・スマートフォン用光学金型向けに販売と受注が引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は、182億8千9百万円（前年同期比21.1%減）、売上高は、224億3千7百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は、3億1千9百万円（前年同期は営業損失4億6千7百万円）となりました。

その他の事業（産業用ロボット、電子制御装置など）

産業用ロボットにおきましては、国内の自動車関連業界等の自動化関連設備向けが軟調に推移し、国内外とも販売と受注で調整局面が続いております。

この結果、その他の事業全体の受注高は、65億2千9百万円（前年同期比23.2%減）、売上高は、93億6千5百万円（前年同期比11.7%減）、海外案件の売掛金の回収状況などを踏まえ貸倒引当金を計上したことにより、営業損失は、6億3千3百万円（前年同期は営業利益6億6千9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ53億7千1百万円減少し、1,453億5千3百万円となりました。減少の主な内訳は、受取手形及び売掛金が19億6千万円増加したものの、商品及び製品が10億9千3百万円、仕掛品が9億3千4百万円、現金及び預金が47億9千3百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ62億5千2百万円減少し、612億7千4百万円となりました。減少の主な内訳は、未払費用が10億7千9百万円、前受金が17億9千5百万円、支払手形及び買掛金が38億3千8百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億8千1百万円増加し、840億7千8百万円となりました。増加の主な内訳は、為替換算調整勘定が3億1千万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が5億7百万円、利益剰余金が5億8千1百万円増加したこと等によります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、2019年11月8日公表の予想を修正いたしました。詳細は、2020年1月31日に公表いたしました「2020年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,592	20,799
受取手形及び売掛金	37,405	39,365
有価証券	—	273
商品及び製品	12,153	11,060
仕掛品	29,793	28,859
原材料及び貯蔵品	73	70
その他	3,909	2,608
貸倒引当金	△89	△57
流動資産合計	108,838	102,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,350	39,122
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,052	△28,364
建物及び構築物（純額）	11,297	10,758
機械装置及び運搬具	24,185	24,314
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,964	△22,077
機械装置及び運搬具（純額）	2,220	2,236
土地	6,460	7,047
リース資産	264	246
減価償却累計額及び減損損失累計額	△160	△145
リース資産（純額）	104	101
建設仮勘定	130	41
その他	7,428	7,434
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,877	△6,881
その他（純額）	550	553
有形固定資産合計	20,765	20,738
無形固定資産		
その他	641	558
無形固定資産合計	641	558
投資その他の資産		
投資有価証券	18,379	19,633
長期貸付金	16	13
繰延税金資産	703	439
その他	1,726	2,008
貸倒引当金	△345	△1,019
投資その他の資産合計	20,479	21,075
固定資産合計	41,885	42,373
資産合計	150,724	145,353

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,207	24,369
短期借入金	10,090	10,090
未払法人税等	466	210
未払費用	4,854	3,775
製品保証引当金	604	686
前受金	7,842	6,047
その他	1,423	1,794
流動負債合計	53,488	46,975
固定負債		
長期借入金	4,300	4,300
長期未払金	5	5
繰延税金負債	66	394
役員退職慰労引当金	32	38
退職給付に係る負債	9,475	9,410
資産除去債務	51	52
その他	105	97
固定負債合計	14,037	14,299
負債合計	67,526	61,274
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	71,983	72,564
自己株式	△16,375	△16,376
株主資本合計	79,630	80,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,844	3,351
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	1,711	1,401
退職給付に係る調整累計額	△988	△885
その他の包括利益累計額合計	3,566	3,867
純資産合計	83,197	84,078
負債純資産合計	150,724	145,353

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	85,758	87,978
売上原価	61,754	62,925
売上総利益	24,003	25,053
販売費及び一般管理費	21,771	22,433
営業利益	2,231	2,619
営業外収益		
受取利息	40	34
受取配当金	317	312
受取賃貸料	39	39
持分法による投資利益	1,122	706
為替差益	213	114
その他	162	124
営業外収益合計	1,895	1,331
営業外費用		
支払利息	60	61
商標使用料	81	93
その他	151	108
営業外費用合計	293	263
経常利益	3,834	3,688
特別利益		
固定資産売却益	4	3
投資有価証券売却益	83	—
特別利益合計	87	3
特別損失		
固定資産処分損	17	82
減損損失	—	19
特別損失合計	17	102
税金等調整前四半期純利益	3,904	3,589
法人税、住民税及び事業税	824	695
法人税等調整額	336	382
法人税等合計	1,160	1,077
四半期純利益	2,743	2,511
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,743	2,511

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,743	2,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△800	491
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△90	△309
退職給付に係る調整額	121	95
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	23
その他の包括利益合計	△800	301
四半期包括利益	1,943	2,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,943	2,812
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,983	19,450	77,434	8,323	85,758	—	85,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	2,278	2,280	(2,280)	—
計	57,983	19,452	77,436	10,601	88,038	(2,280)	85,758
セグメント利益 又は損失(△)	2,067	△467	1,600	669	2,270	△38	2,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用ロボット、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	成形機	工作機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	58,427	22,435	80,862	7,116	87,978	—	87,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	2,249	2,251	(2,251)	—
計	58,427	22,437	80,864	9,365	90,230	(2,251)	87,978
セグメント利益 又は損失(△)	2,897	319	3,217	△633	2,583	36	2,619

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用ロボット、電子制御装置等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(注) 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他」の区分にて19百万円の固定資産の減損損失を特別損失として計上しております。

## (重要な後発事象)

当社の関連会社である株式会社ニューフレアテクノロジーの普通株式1,808,900株のすべてについて、東芝デバイス&ストレージ株式会社（以下「公開買付者」といいます。）が実施する公開買付けに応募いたしました。2020年1月17日に公表の通り本公開買付けは成立したため、所有するニューフレアテクノロジー株式のすべてを公開買付者へ譲渡することに伴い、関係会社株式売却益を計上する見込みとなりました。これに伴い、株式会社ニューフレアテクノロジーは当社の持分法適用関連会社に該当しないこととなります。

## (1) 株式譲渡の対象となる関連会社

商号 株式会社ニューフレアテクノロジー  
 代表者 代表取締役社長 杉本 茂樹  
 所在地 神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番1  
 事業内容 半導体製造装置の製造販売  
 取引内容 当社子会社を通じた部品の販売

## (2) 株式の譲渡先

商号 東芝デバイス&ストレージ株式会社  
 代表者 代表取締役社長 福地 浩志  
 所在地 東京都港区芝浦一丁目1番1号

## (3) 買付けの価格

普通株式1株につき金11,900円

## (4) 買付けの期間

2019年11月14日（木曜日）から2020年1月16日（木曜日）まで（40営業日）

## (5) 買付け予定の株式数

5,450,695株（下限：1,633,700株 上限：なし）

## (6) 譲渡株式数及び所有株式の状況

譲渡前の所有株式数 1,808,900株（所有割合 15.80%）  
 譲渡株式数 1,808,900株  
 譲渡後の所有株式数 0株（所有割合 0.00%）

## (7) 株式譲渡日及び譲渡価額

株式譲渡日 2020年1月16日  
 譲渡価額 21,525百万円

## (8) 業績への影響

2020年3月期第4四半期において102億円を関係会社株式売却益として特別利益に計上し、税金等調整前当期純利益が増加する見込みです。

## 3. その他

## (1) セグメント別受注高・売上高

## ①受注高

第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	68,947	49,908	△19,039	△27.6
工作機械	23,174	18,289	△4,885	△21.1
報告セグメント計	92,121	68,198	△23,923	△26.0
その他	8,506	6,529	△1,977	△23.2
合計	100,628	74,728	△25,900	△25.7

## ②売上高

第3四半期連結累計期間における売上高をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	57,983	58,427	444	0.8
工作機械	19,450	22,435	2,985	15.3
報告セグメント計	77,434	80,862	3,428	4.4
その他	8,323	7,116	△1,207	△14.5
合計	85,758	87,978	2,220	2.6

(注) 1. 上記金額に消費税等は、含まれておりません。

2. セグメント間取引については、相殺消去しております。